

大垣商議所

中小支援事業を拡充

新年会見「ガキビズ」など重点

大垣商工会議所は9日、
新年記者会見を大垣市万石



会見で抱負を述べる堤俊彦会頭
(中央)ら＝大垣市万石、大垣フ
ォーラムホテル

の大垣フォーラムホテルで開いた。堤俊彦会頭は「中小・小規模事業者に寄り添った支援をし、勇気づけていくことが一番大事」と力を込め、ビズモデル型支援センター「ガキビズ」など中小企業・小規模事業者向けの経営支援事業の拡充へ強い意欲を示した。

ガキビズは、売り上げを伸ばすための具体的提案を行うビジネス支援センターとして昨年7月に開所。毎月百数十件の予約が入る盛況ぶり。堤会頭は「ガキビズは売り上げ増のための相談窓口。その他あらゆる相談に乗るワンストップ経営相談会も継続し、相乗効果で中小・小規模事業者を元気づけていきたい」と決意を語った。

他に消費税率引き上げと軽減税率制度の導入に会員企業が対応していくためのセミナーや個別相談会の開催、IoT(モノのイ

ンターネット)やAI(人工知能)など最新技術を活用した労働生産性向上を後押しするセミナーや支援なども新年の重点事業とした。

副会頭の田口義隆氏「セイノールディングス社長」、栗田茂康氏「イビデン顧問」、西脇史雄氏「大垣西濃信用金庫会長」はそれぞれ「ガキビズ」を最重

堤会頭が勇退の意向

大垣商工会議所の堤俊彦会頭(71)＝日本耐酸塩工業会長＝は9日、今年10月末の任期満了をもって勇退する意向を明らかにした。

同日に大垣市内で開かれた同商議所の新年記者会見と新春議員懇談会で、「(会頭職の)バトンを受け継ぎ1期3年を2回、計6年間務めさせていた(今年)は改選期で、次の人へとバトンタッチしていく年となる」とあいさつした。

本紙の取材に堤会頭は「小川信也(前)会頭もそうだったが、2期6年が一

点施策に挙げ「中小・小規模事業者を直接的に支援する本来の意味での伴走型の経営支援」「根はしっかりと張りつつあり、次はたくさんの実(成果)になるようにしていきたい」など話した。

新春議員懇談会も開かれ、政財界の関係者約140人が新たな年の飛躍を誓い合った。

つの流れ。徐々に準備に入っていた」と語った。堤会頭は2002年から副会頭を務め、13年に会頭に就任した。